

## ザ・チャレンジ

(大学受験編)

いよいよ12月が近づき、一般受験を目指す受験生にとっては受験勉強も佳境に入ってきている時期かと思えます。勉強面においてだけではなく、具体的に受験する大学の出願校を検討しなければならない重要な時期ともなってきました。今回は「大学受験の出願校の検討」をテーマにしたいと思います。

出願校を検討する上で最も大切なポイントは、日程をきちんと把握することです。日程というのは「出願締め切り日」、「試験日」、「合格発表日」、「入学手続き締め切り日」です。今まで学習をしていく中で、模試の結果などを踏まえ、「受験校」を考えていく受験生が多いと思いますが、受験しようと思っていた大学の日程が重なっていたり、連続していたり、というようなことが起こり得ます。そのようなことにならないよう、受験日程を考える必要があります。

まず、出願校を検討する上で一つの目の

## Q. 出願校の検討で大切なポイントは？

ポイントは、「第1志望校の日程」を中心に受験校を考えるということです。出願パターンに絶対的な正解というものはありませんが、「第1志望校」を目指して受験勉強をしてきたからには、その日程を中心に受験校を検討するとスムーズにいくことが多いです。第1志望校の受験日の前に連日試験があったり、いきなり最初の試験になってしまう場合は大丈夫なのかどうかなど、個人差がありますが考えられるポイントはいくつかあります。例えば、精神的に不安が大きい生徒であれば、他大学の合格がある状況で第1志望校に挑戦した方が、安心感を持って受験にチャレンジできるケースが多いようです。そうすると「合格発表日」がいつになるのか、ということも大切なポイントとなります。

次に大切なポイントは、「入学手続き締め切り日」を把握することです。締め切り日は入学金の納入期限となることが多く、

この日までに手続きをしないと合格が無効になってしまいます。入学金を支払うこととなりますので、何校も入学金を納めるというのは現実的ではありません。そのため入学金をどのタイミングで支払わなくてはいけないのかを、きちんと把握することも非常に重要です。

出願のスケジュールはカレンダーなどにまとめて、全体を見渡せるようにしておくことが大切です。日程というものは1日でも違ってしまえば、無効になってしまうものです。受験生はもちろんのこと、家族でも共有し、最適な受験プランを練ることをお勧めします。(CG高等館・東進衛星予備校)

※幼児教育から各段階の進学対応まで、多様な「学び」の情報を紹介。次回は小学校編。

## A. 出願から入学手続きまで日程の把握



大学進学情報紙「TOSHINTIMES」  
CG高等館・東進衛星予備校各校舎で無料配布中